

平成 27 年度 学校評価アンケート結果分析（後期） no.1

質問 1					
	上段：前期 下段：後期	はい	どちらかと いうとはい うといいえ	どちらかとい うといいえ	いいえ
児童	あなたは学校生活が楽しいですか。	67.7	23.6	5.6	3.2
		73.9	17.9	4.9	3.4
保護者	あなたのお子さんは学校生活が楽しい と言っていますか。	75.5	20.1	2.6	1.9
		79.6	15.2	3.1	2.2
教職員	児童が学校生活が楽しくなるように努 力していますか。	82.4	17.6	0	0
		88.2	11.8	0	0

学校生活に概ね満足している児童、保護者が90%以上である一方で、そうではないと感じている保護者が前期よりも増加している点に着目すると、家庭との連携が不十分ではないかと考えられる。日々の学校生活の中で、友だち関係や学習の理解度など学級児童の変化をとらえ、保護者への伝達がされることで、家庭でも子どもと保護者のより良い関係が構築されていくのではないかと考える。教職員は、子どもたちが学校生活が楽しくなるための工夫に学校と家庭をつなぐことを含めて考える必要がある。

質問3					
	上段：前期 下段：後期	はい	どちらかと いうとはい うといえ	どちらかとい うといえ	いいえ
児童	あなたは学校生活の中で忘れ物なく学習の準備ができますか。	40.2	35.1	16.7	8.2
		35.5	40	14.2	8.1
保護者	あなたのお子さんは学校生活の中で忘れ物なく学習準備が整っていますか。	32.8	48.1	12.6	6.5
		32.1	51.1	12.2	4.2
教職員	児童に学習準備を整えさせる工夫をしていますか。	50	50	0	0
		70.6	23.5	5.9	0

児童、保護者ともに「どちらかというといいえ」「いいえ」に関して大きく変化はないが、自信を持って準備できていると判断できている児童が減少傾向にあると見てとれる。宿題を必ず仕上げて来ることはもちろん、教科書やノート、筆記用具等学習に必要な用具を毎日きちんと準備することは学習の理解にも影響することである。低学年のうちは保護者が最終確認することも必要だろう。準備不足が目立ってくると、学習への意欲も低下してしまい様々な場面で負の連鎖が始まることもある。学校と保護者のより強い連携が必要だと考えられる。

質問2					
	上段：前期 下段：後期	はい	どちらかと いうとはい	どちらかとい うといいえ	いいえ
児童	あなたは学校の学習がわかりますか。	54.6	35.6	8.4	1.6
		57.9	37	3	2.1
保護者	あなたのお子さんは学校の学習がわかつていますか。	37.3	49.4	9.9	3.4
		38.2	49.1	11.4	1.3
教職員	児童が学習内容がわかるように努力していますか。	76.5	23.5	0	0
		87.5	12.5	0	0

児童の回答で「どちらかといふとはい」も含めて、90%以上が学校での学習内容について理解できているようだ。しかし、ジョイントプログラムや全国学力調査等の結果にはこの回答がそのまま反映していない。教室で学習したことが長期記憶として定着することと、学習したことを活用して新たな課題を解決するというサイクルを確立することが最も重要であるが、あわせて家庭学習の習慣化も学習内容の定着については欠くことができない。後の質問にもあるが、家庭学習の習慣化を確立するためにまだまだ工夫が必要である。

質問4					
	上段：前期 下段：後期	はい	どちらかと いうとはい うといいえ	どちらかとい うといいえ	いいえ
児童	あなたは学校にあるものを大切にしていますか。	87.8	10.8	0.8	1.1
		85.4	12.4	0.7	1.2
保護者	あなたのお子さんは家にあるものを大切に扱っていますか。	30.9	44.9	18.8	5.5
		31.5	49.1	14.5	3.9
教職員	児童に学校にあるものの大切さがわかるように指導していますか。	76.5	23.5	0	0
		76.5	23.5	0	0

家庭でも、学校でも物を大切にするという気持ちが醸成されているようだ。学級ボールの扱いや、教材や教具の扱いについても丁寧になってきている様子が見られる。例えば、使ったものはきちんと元の場所に戻したり、ばらばらにならないようにまとめておいたりといった気配りができている。ただ、落し物がなくならない状況は相変わらず続いている。自分のものについては、きちんと記名しておき、もしなくしても自分のところに戻ってくるようにしておく習慣が身に着くように指導することを忘れてはいけない。

平成 27 年度 学校評価アンケート結果分析（後期） no2

質問 5

	上段：前期 下段：後期	はい	どちらかと いうとはい	どちらかとい うといえ	いいえ
児童	あなたは掃除の時間にきちんと掃除して いますか。	85.1	12.2	3.4	2.0
		75.8	19.1	4.1	0.8
保護者	あなたのお子さん身の回りの整理整頓 がでていますか。	18.6	34.8	35.6	10.9
		16.0	40.9	32.5	10.5
教職員	児童に掃除の指導を適切に行っていま すか。	46.2	53.8	0	0
		68.8	31.3	0	0

家庭では整理整頓ができていない様子が見えてくるが、学校では多くの児童が掃除にきちんと取り組んでいるようである。また、掃除の指導を適切に行っていると回答している教員も前期に比べると増加しており、掃除の時間を子どもと過ごす時間としてとらえている。そもそも、教室やそのほかの場所を掃除するのは「自分たちの使った場所をきれいにしておく」ことが大きな目的であり、自分の身の回りを整理しておくことと違いはない。「させる」「させられる」といった感覚自体をもたないで掃除に取り組めることが理想である。

質問 7

	上段：前期 下段：後期	はい	どちらかと いうとはい	どちらかとい うといいえ	いいえ
児童	あなたは家の生活は楽しいですか。	91	6.4	2.1	0.9
		80.1	13.9	3.5	2.2
保護者	あなたのお子さんは家で楽しく過ごし ていますか。	79.8	19	0.8	0.4
		77.6	21.1	0.4	0.2
教職員	児童は家の話をよくしますか。	66.7	33.3	0	0
		23.5	76.5	0	0

教職員の回答に急激な変化が見られ、学校生活において子どもとの話の話題として家庭での出来事等を話さなくなった理由については見当がつかない。強いて言えば、「よくしますか」という質問であるためにこのような結果になったのだろうと考えられる。

児童の「どちらかというといいえ」「いいえ」の回答が増えていることが気になる。家庭との連携を重視する上でも、学校での様子だけでなく家庭での子どもの様子について必要があれば情報収集しておくことも大切である。

質問 6

	上段：前期 下段：後期	はい	どちらかと いうとはい	どちらかとい うといいえ	いいえ
児童	あなたは朝食を食べていますか。	92.8	5.3	1.2	0.8
		88.6	8.2	1.1	2.1
保護者	あなたのお子さんは朝食を食べていま すか。	89.4	9.1	1.1	0.4
		88.5	9.2	2.1	0.2
教職員	児童は朝から元気ですか	33.3	66.7	0	0
		58.8	41.2	0	0

ほとんどの家庭できちんと朝食を摂っており、教職員も児童は朝から元気だと感じている割合が6割近くまで伸びてきている。成長期において「早寝・早起き・朝ご飯」は必須であり、学習への意欲にも大いに影響を与えることになる。曜日に関係なく朝食は毎日きちんと摂るようにしてもらいたい。

質問 8

	上段：前期 下段：後期	はい	どちらかと いうとはい	どちらかとい うといえ	いいえ
児童	あなたは健康や安全に気をつけて生活していますか。	77	18.1	1.2	3.9
		72.4	22.7	2.7	2.1
保護者	あなたのお子さんは健康や安全に気をつけていますか。	64.8	30	4.3	0.9
		58.3	37.9	3.6	0.2
教職員	健康や安全にかかわる指導を適切にしていますか。	64.3	35.7	0	0
		82.4	17.6	0	0

教職員の健康・安全にかかる指導に対する意識が高まっているが、児童については前期よりも健康・安全に関する意識が後退していることがわかる。保護者の回答は、「はい」が減少しているものの、いいえにかかる部分が減少しており保護者から見て子どもが健康・安全に気をつけるようになってきていると感じていることが伺える。健康や安全は日常生活において根幹となることは言うまでもない。学校でも家庭でも毎日の指導とともに、子どもが実践していることについて適切に評価することが、意識の向上につながると考える。

平成 27 年度 学校評価アンケート結果分析（後期）no3

質問 9

	上段：前期 下段：後期	はい	どちらかど うといふ うとはいふ	どちらかとい うといふ	いいえ
児童	あなたは家人と毎日の生活のことや学校のことなどを話していますか。	59.6	24.1	9.7	6.7
		44.8	30.2	15.2	9.6
保護者	あなたの子さんと毎日の生活のことや学校のことなどを話していますか。	58.3	35	5.8	0.9
		55.9	34.5	7.8	2.1
教職員	児童と毎日の生活のことや学校のことなどを話していますか。	50	50	0	0
		82.4	17.6	0	0

児童・保護者ともにいいえの回答が増加しており、家族での会話が少なくなってきたことが見て取れる。特に高学年にこの傾向が強く出ている。仕事や習い事などそれぞれに都合があり、家族で過ごす時間が少なくなっていくことも考えられる。しかし、質問 7 での回答と比較すると、家で過ごすことに楽しさを感じている割に、家族との会話は少ないという状況があるとすると気になる結果である。質問に「学校のこと」が入っているためにこのような結果になっただけで、家族の会話そのものは減っていなければよいのだが。

質問 11

	上段：前期 下段：後期	はい	どちらかど うといふ うとはいふ	どちらかとい うといふ	いいえ
児童	あなたは家で宿題や勉強をしていますか。	92.3	5.6	1.7	0.6
		77.8	17.4	3.1	1.6
保護者	あなたの子さんは家で宿題や勉強をしていますか。	66.8	25.1	6.2	1.9
		64.2	28.8	5.7	1.2
教職員	児童に家での宿題や勉強ができるよう適切な課題を与えていますか。	92.9	7.1	0	0
		94.1	5.9	0	0

家庭学習の習慣化は学力向上の大変重要な部分であるが、後期に入り大変気になる結果となっている。学年による傾向の特徴ではなく、全体的に家庭学習ができていないといえる。一方で、前期は子どもは家庭学習をしていると判断しているが、保護者はそうではないという、立場による判断に差が見られたが、後期に入り親子の判断が近くなっているとも考えられる。ただ、児童の 90%以上が「はい」と回答していたにもかかわらず、後期に入りここまで減少したことについては、日頃の課題の提示について質量ともに検証する必要がある。

質問 10

	上段：前期 下段：後期	はい	どちらかど うといふ うとはいふ	どちらかとい うといふ	いいえ
児童	あなたは普段体を動かして遊んでいますか。	89.6	7	2	1.5
		62.5	25.4	7.8	4.1
保護者	あなたの子さんは体を動かして遊んでいますか。	74.4	22	3.1	0.4
		58.5	30.1	9.1	1
教職員	児童は体を動かして遊んでいますか。	80	20	0	0
		41.2	58.8	0	0

教職員の回答が激変した。児童・保護者についても同様に前期と比較して外で遊んでいる子どもが少なくなったことがはつきりとわかる。気温が下がり、外で遊ぶには寒いと感じる子どもが多いのだろう。毎週水曜日のロング昼休みや、フープ・スマートボールなど体を動かして遊ぶ時間や道具は揃っているが気候には勝てないといった感じである。外での活動を促す工夫が必要である。

質問 12

	上段：前期 下段：後期	はい	どちらかど うといふ うとはいふ	どちらかとい うといふ	いいえ
児童	あなたは近所の人にすすんであいさつしていますか。	69.9	21.3	3.4	5.5
		58.8	29.6	6.7	4.6
保護者	あなた自身は近所の人にすすんであいさつしていますか。	51.4	31.8	14.5	2.2
		52.1	34.9	11.9	1.1
教職員	あなたはすすんであいさつしていますか。	90.9	9.1	0	0
		93.8	6.3	0	0

前期は、地域の方の協力をはじめ様々な取組の成果として 70% 近い児童が進んであいさつしていると回答していると分析していたが、後期に入り 10 ポイントも下げており大変残念な結果となっている。それ違っても何のあいさつもしないというのは恐らく誰にとっても気分がよいものではないことである。一方、保護者の回答はさらに改善が進んでおり、直近 3 年の中では最も良い結果になっている。子どもたちにとって最も身近な保護者がよい手本となり、子どもたちが進んであいさつできるようになってもらいたい。

平成27年度 学校評価アンケート結果分析（後期）no4

質問13

	上段：前期	下段：後期	はい	どちらかといふとはい	どちらかといふといえ	いいえ
児童	あなたは地域の行事や活動に参加していますか。	68.7	5.7	1.9	23.7	
		40.2	35.3	12.4	11.9	
保護者	あなた自身は地域の行事や活動(祭り/クリエーションスポーツ奉仕活動)に参加していますか。	32.8	33.9	21.8	11.4	
		29.3	38.5	23.2	8.9	
教職員	あなたは大枝の自然産業歴史祭りスポーツ奉仕活動に興味がありますか。	58.8	41.2	0	0	
		52.9	47.1	0	0	

少年補導や社会福祉協議会、PTA等による子どもも向けのイベントが催され、友だち同士で参加している様子が見られる。また、ほほえみコンサートやミュージックフェスタ in 大枝等にも観覧者として会場に足を運んでいる子どもたちはたくさんいる。今回の結果からもわかるように、複数ある行事のうちどれかには参加している子どもが多いと考えられる。また、街頭清掃等の奉仕活動に家族で取り組んでいる姿も見られる。地域での活動に積極的に参加することは、郷土を愛する心を育てる大変よい機会だと考える。歴史ある大枝学区に愛着をもつ子どもたちであってもらいたい。

質問14

	上段：前期	下段：後期	はい	どちらかといふとはい	どちらかといふといえ	いいえ
児童	あなたは自分の携帯電話(スマートフォン)を持っていますか。	43	2.3	0.7	54.1	
		34.6	6.2	0.7	58.3	
保護者	あなたの子さんに携帯電話(スマートフォン)を持たせていますか。	16.8	1.7	2.3	79.2	
		18.4	4.2	1.9	75.5	
教職員	あなたの学級で携帯電話(スマートフォン)を持っている児童を把握していますか。	40	26.7	26.7	6.7	
		43.8	18.8	18.8	18.8	

質問15と同様なかなか実態が把握できない項目である。小学生が保護者を通さずにスマートフォンや携帯電話を手に入れることはできないのだが、毎回保護者と児童の回答に大きな開きがある。保護者の回答から推察すると、子ども専用で携帯電話を持たせている家庭は全体の2割弱、60人程度が所持していると考えられる。中学に入るとほとんどが自分用のものを持ち、部活があるかどうかでもスマホでやり取りすることがあると聞くが、不適切な使い方でトラブルになることが多い。必要がない物は持たせない、持たせるなら使い方を十分指導し、コントロールしなければならない。

質問15

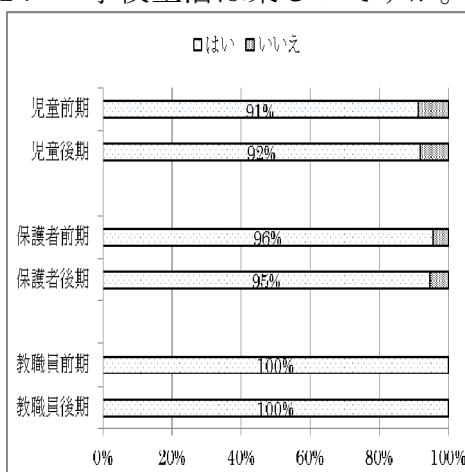
	上段：前期	下段：後期	はい	どちらかといふとはい	どちらかといふといえ	いいえ
児童	あなたは家でインターネットを使っていますか。	41	14.9	8.8	35.5	
		44	16.9	8.1	30.7	
保護者	あなたの子さんは家でインターネットを使っていますか。	18.4	16.2	23.7	41.7	
		20.1	20.2	19.2	40.4	
教職員	あなたの学級でインターネットを使っている児童を把握していますか。	12.5	37.5	43.8	6.3	
		25	31.3	18.8	25	

教職員が、家庭で子どもたちがインターネットに触れているかどうかを十分把握できていないことについてはここ数年の課題である。しかし、誰もがインターネットを活用する現代において、使っているかどうかを把握するよりも、より上手に、より安全に活用できるよう指揮する方が合理的であろう。一方で、保護者は自分の子どもがパソコンやスマホなどを通じて何をしているのか把握しておくことは大変重要であるし、その使い方についてきちんとコントロールしておかなければならない。なぜなら、子どもがインターネットを使えるかどうかは保護者がその環境を与えているかどうかによるからである。

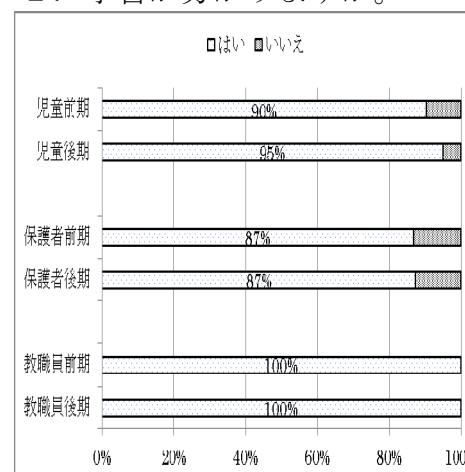
学校運営協議会でのご意見

- 「はい」と答えている割合が急激に減っている項目があるが、どの項目についてもどんな基準で回答しているかがポイントになる。
- 質問13については大枝学区での地域行事そのものが少ないのでこのような結果になってしまう。
- 質問4では「はい」がかなりの割合でいるが、放課後のグランドには学級ボールや衣類などの落し物が多い。学級でどのような指導をしているのか。⇒学校だよりや日々の指導の中で共有のものを扱う時には丁寧に扱うように話題にしています。ただ、持ち物への記名がまだまだ徹底されていない。
- 保護者と教職員の視点が違うこともある。質問5の整理整頓と掃除の指導のところでそれがよくわかる。掃除の時間に学校の掃除をきちんとしているのはよいことだ。
- 朝食をきちんと食べているようで安心だ。きちんと食事ができていない子どもが増えていくと聞くので、大枝の子たちはどういう状況か気になっていた。
- 家庭学習について、放課後に家庭以外の場所で宿題等をしてしまうと家に帰ってから勉強しないのだろう。
- 携帯の所持についてはいつも保護者と子どもの回答に開きがある。薬物事案とも関連てくるとも思われるが十分把握すべきではないか。
- 実態をつかむことが大切なので、聞き方を変えてみてはどうか。
- 学年別に分けた資料をもとに、どの学年の所持率が高いかを知りたい。
- いただいたご意見を次年度のアンケート項目の検討等に生かしたいと思います。

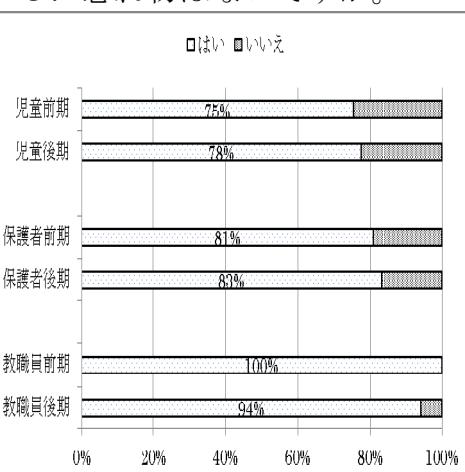
1. 学校生活は楽しいですか。



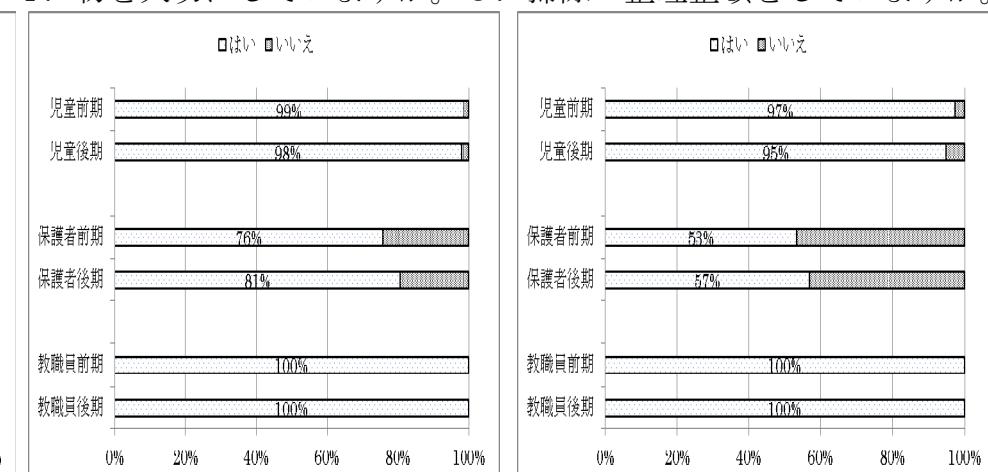
2. 学習が分かりますか。



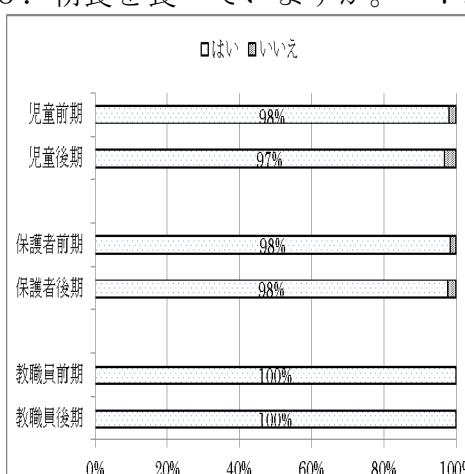
3. 忘れ物はないですか。



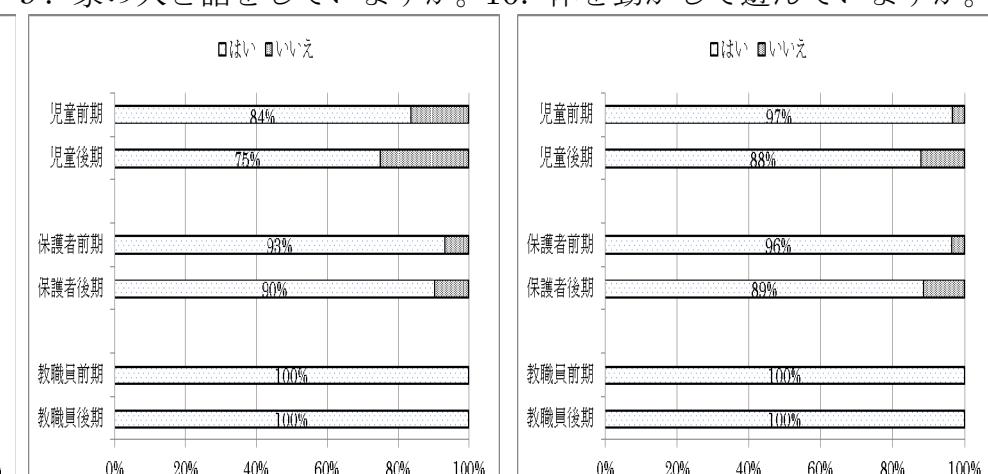
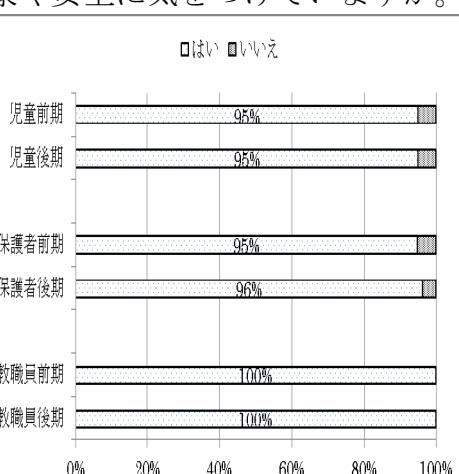
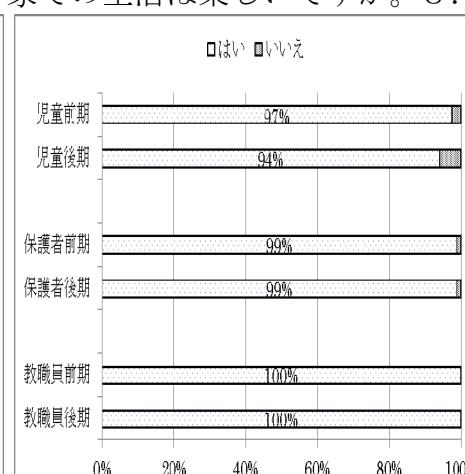
4. 物を大切にしていますか。 5. 掃除・整理整頓をしていますか。



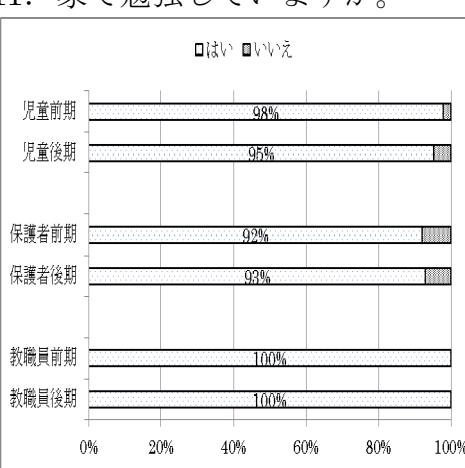
6. 朝食を食べていますか。



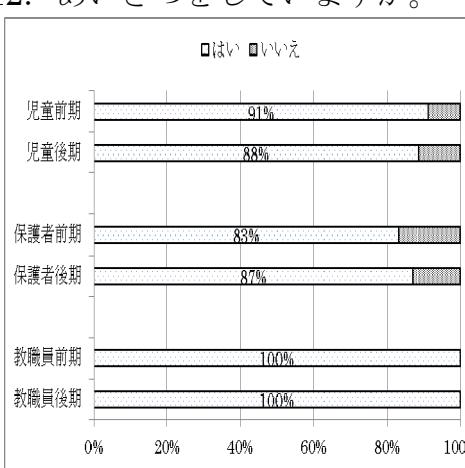
7. 家での生活は楽しいですか。 8. 健康や安全に気をつけていますか。 9. 家の人と話をしていますか。 10. 体を動かして遊んでいますか。



11. 家で勉強していますか。



12. あいさつをしていますか。



13. 地域の行事に参加していますか。

